

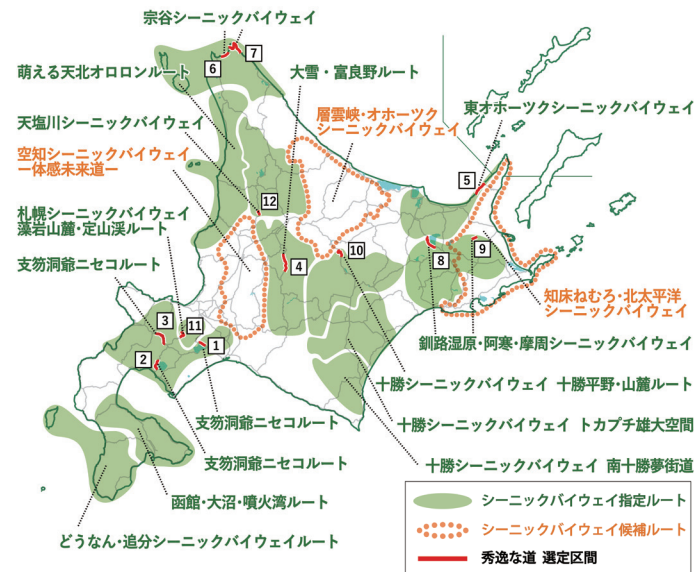
### 地域資源を活かした多様な観光メニューの充実

北海道には、豊かな自然環境、雄大な自然景観や生産活動の中で形成された農村景観、独自の歴史・文化、多様な都市、安全で高品質な農水産物等、アジアの中でも特徴的で魅力的な観光資源が存在しています。

道内各地の地域資源を活かした魅力ある観光地域づくり等を推進し、世界水準の観光地の形成を目指します。

### 「シーニックバイウェイ北海道」の推進

シーニックバイウェイ北海道は、みちをきっかけに地域と行政が連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う取組です。平成17年度より開始し、現在、13の指定ルートと3つの候補ルートがあり約460団体が活動しています。



▲北海道におけるルート一覧

ルート紹介やイベント情報、おすすめスポットなどの情報は、右の二次元コードよりご覧いただけます。

シーニックバイウェイ北海道HPへリンク  
<http://www.scenicbyway.jp/>



右の二次元コードより、シーニックバイウェイ「秀逸な道」の公式サイトをご覧いただけます。

シーニックバイウェイ「秀逸な道」HPへリンク  
<https://sbw-roads.sakura.ne.jp/index.html>



### シーニックバイウェイ「秀逸な道」

- 道内各地の活動団体が薦める特に魅力ある景観等を有する道路を認定し、景観の維持・形成や誘客に向けた情報発信等を重点的に実施します。
- 令和3年度に12区間を認定し、本格展開を開始し、多様な関係主体の連携のもと、道路を地域の観光資源として活用することにより、北海道のドライブ観光をより一層促進します。



### 北海道におけるサイクルツーリズムの推進

「北海道サイクルルート連携協議会※」では、世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向けて道内8つのルートと連携し、安全で快適な自転車走行環境の改善、サイクリストの受入環境の改善、情報発信および地域独自の取組など、官民一体となって推進します。



※北海道サイクルルート連携協議会  
 シーニックバイウェイ交差点センターにより構成  
 ルート協議会 質の高いサイクルツーリズムを提供する団体。市町村、総合振興局・振興局、開発建設部、民間事業者団体（観光協会、商工会連合会等）、自転車関連団体等により構成

#### 自転車走行環境の改善



#### 路面への通行位置明示



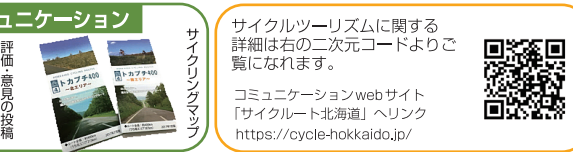
#### 受入環境の整備



#### サイクルラックや修理工具の設置（道の駅等の立寄施設）



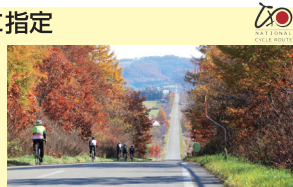
#### 情報発信・サイクリストとのコミュニケーション



#### ●「トカプチ400」がナショナルサイクルルートに指定

ナショナルサイクルルート制度は、優れた観光資源を走行環境や休憩・宿泊機能、情報発信など様々な取組を連携させたサイクルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るため、ソフト・ハード両面から一定の水準を満たすルートを国が指定することで、日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートとして国内外にPRを行い、サイクルツーリズムを強力に推進していく国土交通省の制度です。

この度、「トカプチ400」が第2次ナショナルサイクルルートに指定されました。（令和3年5月31日）



▲「トカプチ400」走行風景（三国峠）

#### ●コンビニとの連携

北海道の地域カバー率97%を超えるセコマグループと「北海道の生産空間の維持・発展に資する連携協力協定」（令和3年6月21日）を締結し、休憩施設の空白地帯においてサイクルラック設置の試行を実施しています。



▲サイクルラック設置状況